

「満23/169/73」

トランスジェンダーのセックスワーカーの労働プロセスを描いた演劇

(制作Giant Girls/2014年/韓国/30分)

映像作品上映&トーク

参加費無料・予約不要

【日時】11月25日(土)10:00am-12:00

【会場】中野区産業振興センター・多目的ホール

韓国のセックスワーカー団体「Giant Girls」が2014年に上演した、トランスジェンダーのセックスワーカーの労働プロセスを描いた演劇を映像化した作品(日本語字幕付)の上映&トーク。

スペシャルゲストとして「Giant Girls」のメンバー3名が来日!

トークゲスト

【Giant Girls来日メンバー】



Lucien

2010年オーストラリアに留学するが「男性」看護師になりたくなく2012年、病院実習の途中で自殺を試みてしまう。その後韓国に戻り性同一性障害の診断を受け女性ホルモン治療を受けている。2012年11月からひとりで出会い系チャットアプリでの活動をしている。2014年、韓国放送通信大学法学科に入学し法を学んでいる。ニューハーフという言葉が可愛いと考えている。客は男性を取っているが実はレズビアン。セックスワーカーの権利の会GGのボスになる機会を虎視眈々狙っている。



DOGYUN

ノンバイナリトランスジェンダー。セックスワーカー。ウケのバイトと呼ばれる「男性間セックスワーカー業種」で働いておりセックスワーカーの権利の会GGの会員である。他にも「性別二分法に抵抗する人々の会、旅行者」というセクシュアルマイノリティ団体の運営会員として活動しており、クィアの話題を勉強する研究者、活動家の集まりであるBeside collectiveのメンバーであり「チッコリ(仕草)」という演劇の集いでも活動している。セックスワーク、クィア、演劇、ジェントリフィケーションなどに多くの関心を寄せている。



Yeoni

男性客を相手にする女性セックスワーカー。

【聞き手】



畑野とまと

ライター。トランスジェンダー活動家。26歳からトランジションを始め、29歳でトランス女性として再出発、ニューハーフヘルス嬢としてセックスワーカーになる。96年に国内最初のトランスジェンダーHP/『トランスジェンダーカフェ』を開設し、トランスジェンダーに関係する情報発信を始める。現在はライターをしながら、非病理化などを掲げてトランスジェンダー活動家として情報発信も継続している。



宮田りりい

2009年からSWASHの活動に参加しているトランス女性。主な問題関心は、セックスワーカーやトランスジェンダーを対象としたエイズ予防の取組みを進めること。

【主催】

SWASH(Sex Work And Sexual Health)

<http://swashweb.sakura.ne.jp/>

twitter:@swash_jp